

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 25 年度第 1 回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

- I. 日 時：平成 25 年 6 月 14 日(金) 11:00 から 13:00
II. 場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）
III. 参加者：浜委員長、市川委員、島崎委員、服部委員、横田委員、岡部委員、西松委員、
柴田委員、情報処理推進機構（アドバイザー）
（事務局）井端事務局長、森下主幹、野本（記）

IV. 検討事項

1. 今年度の取り組みについて

今年度の事業計画では、標的型サイバー攻撃から大学の情報資産を守るための国、大学間等との連携の在り方、教職員による危機管理意識の醸成、管理体制及び監視技術、攻撃の可視化等の防御対策について、事例を踏まえて研究講習を実施することにし、災害時に向けての大学間による情報資産の預かりの可能性、大学全体の情報セキュリティ対策の自己点検・評価の課題と具体的な取り組み等について理解を深めることにした。

講習会開催に向けて以下の検討、意見交換がされた。

- ・ 災害対策では、南海トラフなどの不安も指摘されており、情報資産を二重化でもちあつて機能回復できる連携協定のモデルが作成できないか。
- ・ IPA などは機敏な取り組みをされているが、それぞれの大学の対策は十分とは言えないのではないか。横の連絡や危機意識を持つことが大切ではないか。情報共有して自大学の問題としてとらまえることが必要ではないか。
- ・ 実践的でセキュリティから総合的な内容として、事例を含めて全体に反映させたい。

2. 講習会の内容について

- ・ テーマはサイバー攻撃と事業継続についての内容を設定をしたい。
- ・ コースを分けるかどうか議論したが、前年同様に 2 コースにすることにした。
- ・ マネジメントコースは、昨年ケーススタディを実施したが概ね良い評価であった。サイバー攻撃の早期発見に向けた演習を考えたい。災害対策では、業務分析ワークシートの利用と石巻専修大学のその後の報告とチェックリスト集計結果の説明を考えている。そこで、ガバナンスに理解を促進できるマネジメント、学内の連携、連携などの必要性について議論を考えている。また、業務継続の連携についても議論することを考えている。
- ・ 技術コースは、成り済ましのメール攻撃では差出人の巧妙に設定され避けられない場合も考えられ、どういう情報を守るのか、BCP など考慮した内容を検討している。演習は自大学に持ち帰ってできないか、出口対策など噛み砕く形で行えないか。自大学に持ち帰って使えるものを希望されている。BCP は業務分析ワークシートの紹介を考えている。

V. 次回のスケジュール

- ・ それぞれのコース別にメールなどで意見交換し、実行案を作成することにした。
- ・ 講習会は 8 月 27 日に学習院大学で開催することにした。